

平成二十六年 度（第2回）高校生世代「人権の詩」<sup>うた</sup>

【優秀賞】

キミの手

佐々木紀子

手から伝わる確かな温もり  
自分と大して変わらないはずなのに、  
キミの手は、なんだかとても温かく感じられるんだ

母の手は優しく、私を包んでくれる  
不安で怖いとき、どうしようもないとき、  
母が手を握ってくくれるだけで、不思議と元気になる

父の手は大きく、私を撫でてくれる  
褒めてくれるとき、いいことをしたとき、  
父が頭を撫でてくれるだけで、照れくさくなって、嬉しくて、  
自然と笑顔になる

兄の手は冷たく、私を振り払う  
現実から逃げようとしたとき、嫌なことから  
目を背けようとしたとき、  
兄が声をかけてくれるだけで、逃げ出さず、  
前を向き、立ち向かうことが出来る

友の手は広く、私を救ってくれる  
嬉しいとき、悲しいとき、  
友が笑顔になるだけで、周りも、私も、喜びあうことが出来る

手から伝わる確かな温もり  
その温もりは私をいつも励ましてくれる

だから今度は、私がその手を取りましょう  
私の温もりが、いつか誰かを励ませますように